

生駒市の緑の現状とこれまでの取組の成果

現行計画における取組方針

6つの領域

- (1)山地・丘陵
- (2)河川・ため池
- (3)樹林・農地
- (4)公園
- (5)民間施設・公共施設
- (6)庭先・窓辺・まちかど

系統別配置方針

- (1)環境保全系統
- (2)レクリエーション系統
- (3)防災系統
- (4)景観系統

緑地の整備及び緑化の目標と方針

- (1)都市公園の配置方針
- (2)樹林地等の活用と保全への取り組み方針
- (3)都市緑化の方針

緑の保全に関する成果

- 生駒山系や矢田丘陵、竜田川や富雄川など自然環境の保全
- 都市農地の保全(生産緑地など)
- 保護樹林・保護樹木、市民の森等の指定による市街地に残る貴重な樹木の保全
- 旧街道や宝山寺参道などの歴史景観の保全

緑の整備・維持管理に関する成果

- 都市公園の整備、既存公園の再整備
- 各種法令等に基づく公共施設や民間事業者による緑化
- 公園施設長寿命化計画に基づく計画的な施設の更新
- 生駒山麓公園指定管理者制度の運用
- 市有緑地や街路樹の適切な維持管理

緑の活用に関する成果

- 多様なテーマ・フィールドでの市民活動の展開(自然環境の保全・再生、緑の空間の利活用)
- 花のまちづくりセンターふるーらむを拠点とした緑のまちづくりの推進
- 生駒山等での自然環境とふれあうイベントやプログラムの実施
- 各種媒体を活用した情報発信

課題

緑の保全に関する課題

- ・宅地開発等による緑の減少
- ・山地・丘陵の自然環境の荒廃への対応
- ・身近な樹木の荒廃への対応
- ・歴史文化を感じさせる緑の保全
- ・耕作放棄地増加に伴う多面的機能の低下
- ・生物の生息・生育環境となる緑の保全

緑の整備・維持管理に関する課題

- ・地域特性やニーズに応じた魅力ある公園づくり、公園の機能の再編の必要性
- ・公園施設や樹木の老朽化による機能低下
- ・街路樹の大木化による歩行空間の低下
- ・駅前などにおけるにぎわいづくりに資する緑の必要性
- ・多様な主体による公園などの緑のマネジメントの必要性

緑の活用に関する課題

- ・田園集落の里山や農地などでの営みの担い手不足
- ・市街地の高齢化やライフスタイルの変化等による地域コミュニティの衰退
- ・緑を魅力に感じる市民は多い一方、緑に関わる活動を担う市民は少ない
- ・公園などのオープンスペースや、里山・農地などの活用の必要性

理念・将来像・基本方針

理念・緑の将来像

緑の保全

- ・親しまれ守られてきた自然環境を引き続き保全
- ・安全安心・暮らしを豊かにする恵みなど多様な機能を発揮するグリーンインフラとしての保全
- ・生物の生息・生育環境として、生物多様性を育み、ネイチャーポジティブに向け保全

緑の整備・維持管理

- ・既存公園のストックマネジメントや機能分担、魅力向上
- ・公園・緑地の植栽や街路樹などの健全で快適な維持管理による気候変動等への対応
- ・都市拠点・地域拠点の整備等に伴う都市空間の質向上に向けた緑の確保

緑の活用

- ・緑の活用を通して、市民や事業者が緑の質の向上に関わりたくなる好循環を目指す
- ・公園、里山、農地などの緑を暮らしに活用することによるウェルビーイングの向上
- ・間伐材や木材活用を通じた循環型社会への貢献

協創による推進

- ・3つの基本方針に掲げる各取組を進めるとともに良好な循環を生み出すため協創の姿勢が重要。
- ・多様な主体が関わり合える環境づくりや、リビングラボの考え方を取り入れた推進のための体制づくりに取り組む。

具体的取組

緑の保全に関する取組(例)

- (1)基盤となる山地・丘陵や河川など生駒らしい自然環境の保全
- (2)里地里山など身近な自然環境の保全
- (3)生駒の歴史文化やにぎわいを演出する緑の保全
- (4)農地・ため池の保全
- (5)生物多様性を育む自然環境の保全

緑の整備・維持管理に関する取組(例)

- (1)公園の整備・再整備
- (2)機能を最大限に引き出すための公園のマネジメント
- (3)街路樹などのまちなかの緑の適切な整備・維持管理
- (4)公共施設・民有施設の緑の充実

緑の活用に関する取組(例)

- (1)山地・丘陵、里地里山、樹林地など自然環境の活用の促進
- (2)農地の活用の促進
- (3)公園やオープンスペースの活用の促進
- (4)情報発信・共有、普及啓発、人材育成

協創による推進の具体的取組

- (1)緑のリビングラボの設置・運営
- (2)協創による取組評価のしくみづくり

※緑の現況図、構造特性図などの図面も用いて表現 地図に基づく内容が薄く、地域全体で見た時にどうかというところが見えない

市民意識の把握

市民意識調査

- ・市民アンケート
- ・こどもアンケート
- ・実践者ヒアリング 等

緑に対する意識、満足度
市民と緑とのかかわり
緑に対するニーズ

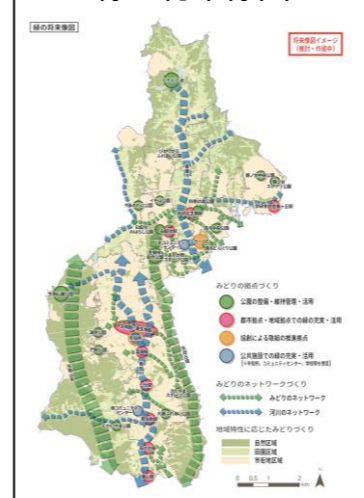
協創に関する課題

- ・協働・協創の蓄積を活かしつつ時代に合わせた対応
- ・多様な主体の連携による地域課題の解決や新たな価値創造
- ・協創による推進の仕組みづくり

社会情勢の変化と本改定で踏まえておくべき事項

- (1)緑の多面的機能をいかした気象災害の激甚化、頻発化への対応
【キーワード】水源涵養機能、土砂災害防止、雨水流出抑制、浸水軽減、緑の多面的な機能
- (2)脱炭素・循環型社会の推進につながる持続可能な暮らしや営みへの期待の高まり
【キーワード】脱炭素社会、循環型社会、森林資源の循環利用・空間活用、持続可能な暮らし
- (3)グリーンインフラとしての緑への期待の高まり
【キーワード】ネイチャーポジティブ、カーボンニュートラル、GX、緑の多様な機能、地域課題の解決
- (4)SDGsにかかわる取組の広がり
【キーワード】各ゴールとの対応、目標達成に資する緑の取組の展開
- (5)生物多様性を支える自然環境や田園環境の重要性の高まり
【キーワード】ネイチャーポジティブ、生物多様性保全、重要里地里山、田園環境
- (6)行財政資源の収縮に伴う緑の維持管理等の効率化
【キーワード】公園施設や樹木の老朽化、維持管理・更新費用の増大、各主体が連携した緑の維持管理
- (7)公園緑地やオープンスペースの活用や多様な主体との連携
【キーワード】賑わいづくり、観光、道路空間や駅前広場の活用、民間事業者との連携、活用を通じた保全
- (8)緑豊かなまちで暮らすライフスタイルへのニーズの高まり
【キーワード】定住意向として自然環境が豊かなまち、社会的つながり、誰もがかかわりやすいという緑の特性
- (9)人口減少・少子高齢化に伴う担い手不足やニーズの変化
【キーワード】農業・ボランティア・地域コミュニティにおける担い手不足、公園機能のあり方

緑の将来像図

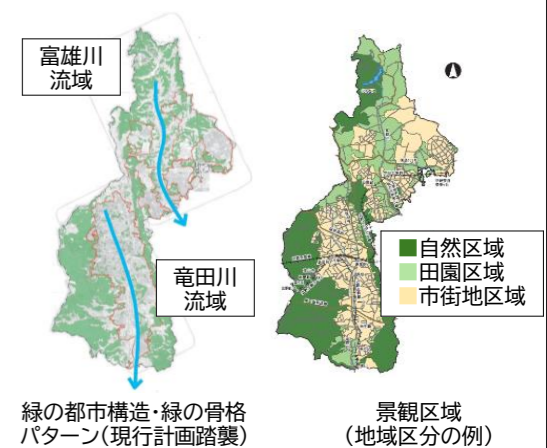


・従来型でベーシックなところをしっかりと押さえた上で新しい展開を付加
・市民の暮らしの視点で「はぐくむ」と括るのは柱の立て方が違う
基本方針の柱立てを見なおした方がよい



地域に応じた取組を展開

緑の構造や地域区分等の視点から地域特性把握



・都市公園をはじめ地域別のプランを盛り込んだ内容、地域計画的な方向性を示しておく必要があるのではないか
・場所別より、地域別の構成がよいのではないか

国の基本方針に挙げられているような事(緑地の保全・緑化の意義)についてどこまで触れるのか、生駒にどう落とすのか